

令和5年度 もも病害虫防除暦 (JAながのみゆきブロック)

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫	収穫前 使用規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
特別散布 3月上旬 月 日	1	水 ガットキラー乳剤	99 ℓ 1 ℓ	100 倍	350 ℓ	コスカシバ	発芽前	1 回	・被害部の樹脂を取り除いてから主幹部及び枝幹に散布する。 ・ガットキラー乳剤に替えて、 Ⓜラビキラー乳剤200倍 (落葉後～発芽前・1回)でも良い。
1 3月中・下旬 (発芽前) 月 日	M1 —	水 キンセット水和剤80 スプレーオイル	98 ℓ 100 g 2 ℓ	1,000 倍 50 倍	300 ℓ	縮葉病 せん孔細菌病 カイガラムシ類 ハダニ類	開花直前 発芽前	5 回 —	・カイガラムシ類の多発園ではキンセット水和剤80に替えて、トレノックスフロアブル500倍(7日前・5回)を使用し、アブロードフロアブル1,000倍(収穫14日前・3回)を加用する。 ・混用に当り凝縮の恐れがあるので、混用順序を守る。 水⇒スプレーオイル⇒アブロードフロアブル⇒トレノックスフロアブル
2 開花始め 月 日	M1 —	水 I Cボルドー412 展着剤(K. Kステッカー)	100 ℓ 3.3 Kg 33 mℓ	30 倍 3,000 倍	350 ℓ	縮葉病 せん孔細菌病	—	—	・展葉後のボルドー散布は葉害の発生が著しいので、散布時期を厳守する。

★コスカシバの食入防止に4月下旬までにスカシバコンLを10a当り100～150本を枝に取り付ける。

★せん孔細菌病の伝染源となる「春型枝病斑」はこまめに切除する。

3 5月上旬 (前回より 10日後) 月 日	— M3 25 29	水 展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル アグレプト水和剤 ウララDF	100 ℓ 10 mℓ 200 mℓ 100 g 25 g	10,000 倍 500 倍 1,000 倍 4,000 倍	350 ℓ	せん孔細菌病 黒星病 灰星病 アブラムシ類	7 日前まで 60 日前まで 14 日前まで	5 回 2 回 2 回	・うどんこ病の発生が多い園は、コナケシ顆粒水和剤4,000倍(収穫前日・2回)を加用する。 ・アグレプト水和剤に替えて、アグリマイシン-100 1,500倍(収穫60日前・2回)でも良い。
4 5月中旬 月 日	— 11 41+25 16	水 展着剤(ハイテンパワー) ストロビードライフロアブル アグリマイシン-100 アブロードフロアブル	100 ℓ 10 mℓ 50 g 66 g 100 mℓ	10,000 倍 2,000 倍 1,500 倍 1,000 倍	400 ℓ	せん孔細菌病 黒星病 灰星病 うどんこ病 カイガラムシ類	前日まで 60 日前まで 14 日前まで	3 回 2 回 3 回	・アグリマイシン-100はぶどうにかからないよう注意する。 ※アグレプト水和剤とアグリマイシン-100は合わせて2回以内となる様に注意する。
5 5月下旬 月 日	— M3 41 4	水 展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル マイコシールド Ⓜモスピラン顆粒水溶剤	100 ℓ 10 mℓ 200 mℓ 66 g 33 g	10,000 倍 500 倍 1,500 倍 3,000 倍	400 ℓ	せん孔細菌病 黒星病 灰星病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類	7 日前まで 21 日前まで 前日まで	5 回 5 回 3 回	

6 6月上旬 から 6月中旬 月 日	— M3 41 1	水 展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル マイコシールド Ⓢ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 10 ml 200 ml 66 g 100 g	10,000 倍 500 倍 1,500 倍 1,000 倍	500 ℓ	せん孔細菌病 黒星病 灰星病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 カイガラムシ類	7 日前まで 21 日前まで 前日まで	5 回 5 回 4 回	Ⓢダイアジノン水和剤34に替えて、ⓈダーズバンドF 3,000倍(収穫14日 前・5回)でもよい。
7 6月中旬 から 6月下旬 月 日	— M9 41 3	水 展着剤(ハイテンパワー) Ⓢ デランフロアブル マイコシールド Ⓢ イカズチWDG	100 ℓ 10 ml 166 ml 66 g 66 g	10,000 倍 600 倍 1,500 倍 1,500 倍	600 ℓ	せん孔細菌病 灰星病・黒星病 モモハモグリガ シンクイムシ類	7 日前まで 21 日前まで 前日まで	4 回 5 回 5 回	
8 7月上旬 から 7月中旬 月 日	— M9 20 28	水 展着剤(ハイテンパワー) Ⓢ デランフロアブル カネマイトフロアブル エクシレルSE	100 ℓ 10 ml 166 ml 100 ml 20 ml	10,000 倍 600 倍 1,000 倍 5,000 倍	600 ℓ	せん孔細菌病 灰星病・黒星病 モモハモグリガ シンクイムシ類 ハマキムシ類 ハダニ類	7 日前まで 7 日前まで 前日まで	4 回 1 回 3 回	・エクシレルSEに替えて、サムコルフロアブル10 5,000倍(収穫前日・2 回)でも良い。
9 7月中旬 から 7月下旬 月 日	— 7 1	水 展着剤(ハイテンパワー) フルーツセイバー Ⓢ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 10 ml 50 ml 100 g	10,000 倍 2,000 倍 1,000 倍	600 ℓ	灰星病 ハマキムシ類 シンクイムシ類	前日まで 前日まで	3 回 4 回	・有袋品種は、除袋後に散布する。 ・ハダニ類の発生が多い園はコロマイト乳剤1,000倍(収穫7日前・1回)を 散布する。
10 8月上旬 から 8月中旬 月 日	— 3 3	水 展着剤(ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル アーデントフロアブル	100 ℓ 10 ml 50 ml 50 ml	10,000 倍 2,000 倍 2,000 倍	600 ℓ	灰星病 ホモプシス腐敗病 シンクイムシ類 ハダニ類	前日まで 前日まで	3 回 3 回	・シンクイムシ類の被害果は、園内に放置せず水没させる。 ・有袋品種は、除袋後に散布する。
11 8月中旬 から 8月下旬 月 日	— 11 28	水 展着剤(ハイテンパワー) プリントフロアブル25 エクシレルSE	100 ℓ 10 ml 50 ml 20 ml	10,000 倍 2,000 倍 5,000 倍	600 ℓ	灰星病 ホモプシス腐敗病 ハマキムシ類 シンクイムシ類 モモハモグリガ	前日まで 前日まで	3 回 3 回	・有袋品種は、除袋後に散布する。
12 9月上旬 月 日	— M7	水 展着剤(ハイテンパワー) ベルコートフロアブル	100 ℓ 10 ml 50 ml	10,000 倍 2,000 倍	600 ℓ	灰星病 ホモプシス腐敗病	前日まで	3 回	

★せん孔細菌病多発園は、次年度の菌密度を下げるため10日間隔で3回の散布を徹底する。また、予防効果を高めるため風雨前の散布とする。

13 収穫後 9月上旬 月 日	M1 1 —	水 I Cボルドー412 スミチオン乳剤 展着剤(K. Kステッカー)	100 ℓ 3.3 Kg 100 mℓ 33 mℓ	30 倍 1,000 倍 3,000 倍	600 ℓ	縮葉病 せん孔細菌病 モモハモグリガ	— 3 日前まで	— 6 回	・せん孔細菌病の次年度の菌密度を下げるため必ず散布する。また、予防効果を高めるため風雨前の散布とする。 ・りんご、ぶどうへの汚れに注意する。
14 収穫後 9月中旬 月 日	M1 —	水 I Cボルドー412 展着剤(K. Kステッカー)	100 ℓ 3.3 Kg 33 mℓ	30 倍 3,000 倍	350 ℓ	縮葉病 せん孔細菌病	—	—	
15 収穫後 9月下旬 月 日	M1 —	水 I Cボルドー412 展着剤(K. Kステッカー)	100 ℓ 3.3 Kg 33 mℓ	30 倍 3,000 倍	350 ℓ	縮葉病 せん孔細菌病	—	—	

農薬混用順 ①展着剤 ②液剤 ③乳剤 ④水溶剤 ⑤フロアブル剤 ⑥顆粒水和剤 ⑦水和剤
 ※展着剤(K.Kステッカー)は最後に入れる